連携の絆を深め、輝く明日へ

ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No.832
2025
7

令和7年度　通常総会開催報告

第28回全国菓子大博覧会・北海道
あさひかわ菓子博2025が開催されました

支部だより（胆振支部）

7月20日は中小企業の日

北海道中小企業団体中央会

ニュースレポート
中央会
NEWS REPORT CHUOKAI
No.832
2025
7

Contents

01　創立 70 周年記念中小企業団体全道大会・第 77 回中小企業団体全国大会のお知らせ
02　令和７年度　通常総会開催報告
04　令和7年度東北・北海道ブロック中小企業青年中央会通常総会が開催されました／令和７年度　北海道中小企業青年中央会通常総会が開催されました
05　令和７年度第１回総合企画委員会を開催しました／全国中小企業組合士協会連合会通常総会・表彰式、全国中央会中小企業組合士フォーラム 2025 が開催されました
06　第 28 回全国菓子大博覧会・北海道 あさひかわ菓子博 2025 が開催されました
07　道内で広がる特定地域づくり事業協同組合！
08　北海道中小企業団体中央会の共済制度
09　北海道警察からのお知らせ
10　北海道経済産業局からのお知らせ
11　５月の道内景況
14　支部だより
16　中小企業大学校旭川校からのお知らせ
17　中小企業基盤整備機構からのお知らせ

中央会 TOPICS

組合等女性研修会のお知らせ

『常に進化！　常に挑戦！』

・**日　時**　令和７年 10 月 10 日(金)
午後３時 30 分から
・**会　場**　ニューオータニイン札幌
(札幌市中央区北２条西１丁目)
・**参加費**　研修会　無料
交流懇談会　１名 10,000 円

・**講　師**
株式会社丸夕田中青果
常務取締役
株式会社ベジックパンダ
代表取締役
田中 美智子　氏

中央会 TOPICS

組合運営実務講習会開催のご案内

全国中小企業団体中央会による中小企業組合検定試験は、今年も 12 月７日(日)に札幌市で実施を予定しています。

本会ではこの試験に向けて、「組合運営実務講習会」を、次のとおり開催します。参加を希望される方は、今月号のニュースレポート中央会に同封しています申込書にてお申し込みください。

受験予定者に限らず、組合運営の実務についてより深く学びたいという方の参加も歓迎いたします。

開催月日と内容

9月 17 日(水)	9月 18 日(木)	9月 19 日(金)
組合制度	組合運営	組合会計

・１日の講義時間は 10：00～13：00(前半)、14：00～17：00(後半)の６時間です。
・前半は基礎的な知識、後半は試験問題の傾向と対策等について講義します。
・科目を選択して受講することもできます。

会　場

札幌市中央区北１条西７丁目　プレスト１・７　２階
北海道中小企業会館　会議室Ｃ

詳しくは同封のチラシをご覧ください。たくさんのご参加をお待ちしております！

中央会 TOPICS

創立 70 周年記念中小企業団体全道大会開催のご案内

1　日　　時　令和７年８月６日(水)午後１時 30 分から

2　場　　所　札幌市中央区北１条西６丁目　札幌ガーデンパレス　２階「丹頂」

3　行事内容

(1) 記念全道大会　　前大会決議経過報告、議案審議・決議ほか

(2) 記念功労者表彰　・北海道経済産業局長表彰　・北海道知事表彰(産業貢献賞)
・全国中小企業団体中央会会長表彰　・北海道中小企業団体中央会会長表彰

(3) 記念講演

○演　題　『ファイターズの挑戦』

○講　師　株式会社北海道日本ハムファイターズ
株式会社 ファイターズ スポーツ＆エンターテイメント
代表取締役社長　**小　村　　勝　氏**

(4) 記念パーティー

4　大会参加料　6,000 円

小村　勝　氏

※ご案内を同封していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第77回 中小企業団体全国大会 in 広島

オリジナルツアー　2025 年 11 月 11 日(火)～13 日(木)

●大会：令和７年 11 月 12 日(水)
●場所：広島県広島市　広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

旅行代金　190,000 円程度

※行程及び旅行代金(参加人数による)は変更する場合がございます。

日	月日	時間	行　　程	宿泊地	食事
1	11 月 11 日(火)	8：45 13：20 15：00 15：20 18：00	新千歳空港発(羽田空港経由) 広島空港着 宮島口(フェリー移動) **宮島(厳島神社)** 日本三景、世界遺産・厳島神社で有名な宮島。 10 月～11 月頃の紅葉が美しい。 ホテル	安芸グランドホテル	昼 ○ 夕 ○
2	11 月 12 日(水)	10：25 11：30 12：25 18：00 20：20	**原爆記念館・原爆ドーム** 1945 年8月6日、史上初めての原子爆弾投下によって被爆し、大破した建築物。 **お好み焼き屋弁兵衛八丁堀店**(昼食) 落ち着いた雰囲気の掘りごたつの個室で、 本場広島のお好み焼きを堪能。 **第 77 回中小企業団体全国大会(13：00～15：30)** **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)** **リーガロイヤルホテル広島(交流会※参加未定)** **豆匠広島本店**(夕食) 宮大工の手による総檜造りの建物で、懐石料理をお楽しみいただきます。 ホテル	グランドプリンスホテル広島	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	11 月 13 日(木)	10：05 11：50 12：45 15：45 19：35	**呉湾艦船めぐり** 大迫力の艦船を間近に眺めながらのクルージング **呉ハイカラ食堂**(昼食・呉海自カレー) **大和ミュージアムサテライト／てつのくじら館** 戦艦「大和」に搭載された実績もある零式観測機の 実物大模型を展示 / 潜水艦と掃海を展示する史料館 広島空港発(羽田空港経由) 新千歳空港着		朝 ○ 昼 ○

なお、詳細な案内については、８月号に全国大会のご案内とオリジナルツアー企画書を封入いたします。
また、本会ホームページにもオリジナルツアー企画書を掲載していますので、ご参照ください。

令和７年度 通常総会開催
～提出議案を全て可決～

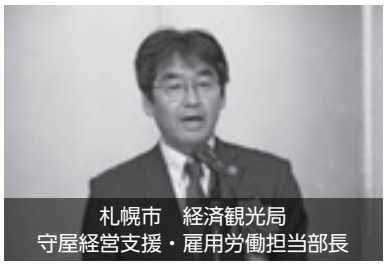
６月５日(木)、札幌ガーデンパレスにおいて、会員組合など724名(来賓及び委任状出席を含む。)の出席を得て、令和７年度通常総会を開催しました。

総会では、髙橋秀樹会長の開会挨拶に続き、来賓の北海道経済産業局 西村かおり産業部長、北海道 三橋剛副知事、札幌市 守屋 光経済観光局 経営支援・雇用労働担当部長から祝辞をいただいた後、野村佳史副会長を議長として議案の審議が行われ、令和６年度事業報告、令和７年度事業計画など全ての議案を満場の賛成により原案どおり可決しました。

髙橋会長

北海道経済産業局　西村産業部長

北海道　三橋副知事


札幌市　経済観光局
守屋経営支援・雇用労働担当部長

議長　野村副会長

監査報告をした熊谷監事

令和７年度主な新規・拡充事業

Ⅰ　組織支援事業

・特定地域づくり推進事業（全国中央会補助事業及び独自事業）［拡充］

人口急減地域の担い手不足など社会的課題に対し、外部専門家を連携推進員として設置し、本会が能動的に小企業事業者のグループを発掘し連携組織の形成や「特定地域づくり事業協同組合制度」の活用を前提とした組合事業の企画・立案を行い、小規模事業者の連携・組織化に向け一層の促進を図る。

Ⅱ　連携強化事業

・官公需受注対策推進事業［拡充］

中小企業・小規模事業者が抱える官公需受注に関する問題点の整理と、その解決の方策の検討及び官公需適格組合等の受注機会の確保のための懇談会と併せて、新たに研修会及び交流会を開催することで関係者の連携を促し制度普及活動を活発化させるとともに、中小企業庁が所管する官公需確保対策地方推進協議会に積極的に参画する。

・中央会創立 70 周年記念 中小企業団体全道大会及び功労者表彰式［拡充］

全道の中小企業組合関係者が一堂に会し、中小企業・小規模事業者及び地域経済社会の振興発展に資することを目的に、中小企業団体全道大会を開催し、エネルギー・原材料価格高騰対策等を始め、事業者や地域が直面する諸課題について共通認識の形成を図るとともに、その解決に向け決議する。また、本年は、本会創立 70 周年を迎えることから、記念式典として全道大会及び功労者表彰式を行うほか記念誌を発行する。

総会終了後には、懇親パーティーを立食形式で開催しました。佐藤安幸副会長の挨拶の後、北海道 水口伸生経済部長の乾杯の発声により祝宴に入りました。

約 100 名の参加者が和やかに交歓し合い、中小企業基盤整備機構北海道 中沢孝雄北海道本部長の一丁締めにより盛会のうちに閉会しました。

佐藤副会長

北海道　水口経済部長

中小企業基盤整備機構北海道
中沢北海道本部長

令和７年度通常総会における会長挨拶（要旨）

道内経済は、インバウンドを含む観光需要の回復により、地域経済に再び活気をもたらしつつあります。さらに、次世代半導体製造拠点を核とした関連産業への波及や、脱炭素社会の実現に向けた企業誘致や設備投資が期待されるなど、景気回復の兆しが徐々に見られております。

一方で、長引くエネルギーや原材料価格の高騰をはじめ、各産業における深刻な人手不足、地政学的リスクの高まりを背景とする資材や物流コストの上昇、さらには米国による相互関税導入による先行きの不透明感など、中小・小規模事業者にとって厳しい経営環境が続いています。

このような状況を踏まえ、私ども中央会としてはエネルギー・原材料価格の高騰抑制をはじめ、適正な利益確保のための円滑な価格転嫁に向けた支援について、国、道や札幌市、各支部では地元市町に対し要望活動を行ってきたところでございます。

令和７年度は、講習会やセミナーの開催や専門家派遣などの従来の事業に加え、特定地域づくり事業協同組合制度の活用促進などを図る事業に取り組むとともに、省力化投資を支援する「中小企業省力化投資補助事業」を引き続き実施し、中小・小規模事業者等を後押ししてまいります。

先が見通せない厳しい環境下ではありますが、このような時こそ、相互扶助の精神を基本とする私たち中小企業組合連携組織が今こそ力を発揮できるものと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

青年部 TOPICS

中小企業青年中央会

令和７年度東北・北海道ブロック通常総会が開催されました

５月15日(木)、宮城県仙台市にて東北・北海道ブロック中小企業青年中央会の通常総会が開催され、北海道および東北６県(青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県)から19名が参加しました。総会では、令和６年度の事業報告・決算報告、令和７年度の事業計画や予算案について活発な議論が交わされ、すべての議案が承認されました。また、各地域の今後の取り組みについて情報交換が行われ、地域を越えた連携の重要性を再認識する機会となりました。

総会終了後には懇親会も開催され、参加者同士で親睦を深め、これからの活動に向けて意欲を高める場となりました。同会の結束を強める非常に有意義な一日となり、今後の取り組みに弾みがつく機会となりました。

青年部 TOPICS

令和７年度 北海道中小企業青年中央会 通常総会が開催されました

６月10日(火)、ホテルノースシティにおいて、北海道中小企業青年中央会(道青中)の令和７年度通常総会が開催されました。

岡田和也会長の開会挨拶後、議案審議に入り、令和６年度事業報告・収支決算、令和７年度事業計画・収支予算など提出された全議案が満場一致で承認されました。

講師の辻口氏

続く講習会では、西松翔太副会長による開会挨拶後、みらいコンサルティンググループ　辻口　賢札幌支社長から、「変化する時代に対応する人材定着戦略～実例から学ぶ具体的手法～」と題した講演が行われました。若年者の就労に対する意識や、組織を束ねる為のコミュニケーションの重要性などが経営者目線で紹介され、講演後には、各組合から人材の採用や定着に関するものなど様々な質問があり、活発な意見交換が行われました。

研修会終了後の交流懇談会では、多くの参加者から講習会に関する感想が聞かれたほか、ビンゴ大会では皆さんの笑い声が会場を包み、野口竜太副会長による中締めの挨拶後、盛会のうちに終了しました。

中央会 TOPICS　令和７年度第１回総合企画委員会を開催しました

５月28日(水)、北海道中小企業会館において、第１回総合企画委員会が、委員７名、事務局９名参加のもと開催されました。

同委員会は、８月６日(水)に開催される「創立70周年記念中小企業団体全道大会」に提出する要望決議案の作成に向けて、５月と７月の２回にわたって実施する会議です。１回目の同会議は、５月14日(水)に行われた支部長会議で取りまとめた内容をベースに、各委員から業界における意見を聴取し、要望事項の整理分類を行いました。

委員長に選任された本会の杉野邦彦副会長の進行の下、事務局から配付資料に基づき、要望事項検討内容について説明があった上で、各委員から要望内容や業界の現況等について意見が述べられました。

意見交換では、「2024年問題による労働時間規制により、目的地の前で休憩させなくてはならず、逆にドライバーの拘束時間が増えている」、「建設業界の中小企業の多くが変形労働時間制を採っており、求職者から敬遠されやすい」との声や、「中小企業に対する支援機関の存在をより周知していくべき」、「地方創生を要望の第一に打ち出してほしい」などといった意見が上がり、７月２日(水)の第２回委員会で行う提出議案の取りまとめに向けて、大変有意義な会議となりました。

組合士会 TOPICS　全国中小企業組合士協会連合会　通常総会・表彰式、全国中央会　中小企業組合士フォーラム2025が開催されました

６月13日(金)、東京国際フォーラム(東京都)において、全国中小企業組合士協会連合会 令和７年度通常総会・表彰式及び全国中央会が主催の中小企業組合士フォーラム2025が開催されました。

北海道中小企業組合士会からは、鈴木英弘会長(全国中小企業組合士協会連合会会長)ほか９名が出席しました。

鈴木会長

伊藤副会長

総会では、令和６年度事業報告、令和７年度事業計画をはじめとする全ての議案が満場の賛成により原案どおり可決され、役員改選では、北海道組合士会の鈴木会長が同連合会会長に再選されました。続いて行われた表彰式において、北海道組合士会から、齊籐里美理事(北海道鍼灸マッサージ柔整協同組合 所長)、荻原京子理事(厚岸木材工業協同組合 代表理事)、藤原善樹理事(北海道税理士協同組合 事務局長心得)の３名が「優良組合士」を受賞しました。

組合士フォーラムの第１部では、ニッセイ基礎研究所 主席研究員 チーフ株式ストラテジスト 井出真吾氏が「トランプ政権が変える世界秩序と株価・為替の見通し」と題して講演を行い、第２部では、北海道組合士会 伊藤喜彦副会長(協同組合日専連旭川 専務理事)が「身近なSDGs」と題し組合士の活躍事例発表を行いました。終了後には、東京會舘本館にて懇親会も開催され、組合士同士の情報交換や交流を深め、盛会のうちに終了しました。

組合 TOPICS

第28回全国菓子大博覧会・北海道

あさひかわ菓子博2025が開催されました

5月30日(金)から6月15日(日)までの17日間、「第28回全国菓子大博覧会・北海道(あさひかわ菓子博2025)」が、旭川市の道北アークス大雪アリーナ等を会場に開催され、会期中約15万人が来場しました。菓子博は1911年から全国各地で約4年に1度開かれており、コロナ禍の影響で開催が延期されていましたが、前回の菓子博から8年ぶり、北海道としては1968年の札幌開催以来57年ぶり2度目の開催となりました。

開会式で式辞を述べる北海道菓子工業組合の長沼理事長

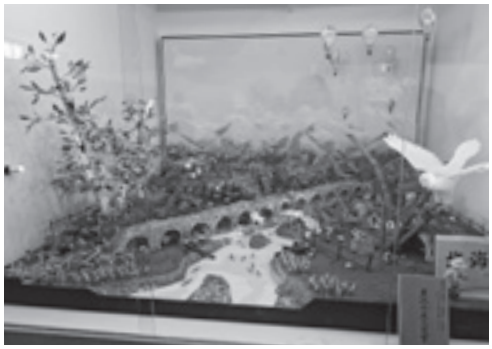
開会式では、菓子博名誉総裁を務める三笠宮家の彬子さまが、「北の大地から日本全国、世界にお菓子の魅力が伝わり、お菓子を通した平和なひとときを世界の人たちが共有してくださることを祈ります」とあいさつされました。

オープニングセレモニーでは、第1回開催から114年になることにちなみ、重さ114キロのまんじゅうが登場し、大会長である、北海道菓子工業組合の長沼昭夫理事長が包丁を入れると、中から公式キャラクター「シマエ大福」をデザインした餡(あん)が現れ、会場は大いに盛り上がりました。

メイン会場の「大雪アリーナ」では、道内外の菓子職人によって風景や動植物が再現された工芸菓子が約90点展示されており、その繊細な細工に感嘆の声が上がっていました。また、お菓子の実演コーナーでクッキーやどら焼きの製造工程を見学できたり、プロジェクションマッピングで和洋様々なお菓子と北海道の広大な牧場や畑、農産物の大迫力な映像を上映するなど、多数の催しを観光客や親子連れが楽しんでいました。屋外会場では、スイーツランドや北のグルメコーナーなど、その場で食を楽しめるブースも数多く立ち並び、来場者は青空の下で舌鼓を打っていました。

会場を視察した髙橋会長

「旭川地場産業振興センター」(道の駅あさひかわに隣接)では、全国各地からその地域でしか買えない、約1,000品ものお菓子が集まった全国スイーツマーケットが開かれ、連日大勢のお客様で賑わい、休日には長い行列ができていました。



中央会 TOPICS

道内で広がる特定地域づくり事業協同組合！

～人口急減地域での地域産業の担い手を確保する新たな制度～

特定地域づくり事業協同組合制度は、地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業を行う事業協同組合(都道府県知事が認定)に対して国などが財政的、制度的な支援を行う制度です。本会では、関係機関と連携し、新たな制度に関する情報提供や普及促進、組合設立に対する支援、各種の申請・届出書類作成等の支援、組合設立後のフォローアップと組合運営への支援などを行っています。

特定地域づくり事業協同組合制度の概要

根拠法：地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律（令和２年６月４日施行）

人口急減地域の課題

・事業者単位で見ると年間を通じた仕事がない

・安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保できない

⇒人口流出の要因、UIJターンの障害

特定地域づくり事業協同組合制度

・地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出

・組合で職員を雇用し事業者に派遣

（安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保）

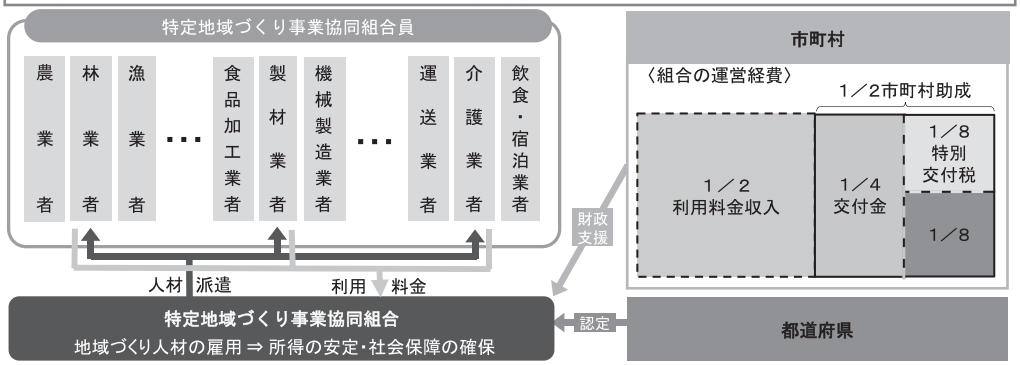
⇒地域の担い手を確保

人口急減法の概要

対　　象：人口規模・人口密度・事業所数等に照らし、人材確保に特に支援が必要な地区として知事が判断
※過疎地域に限られない

認定手続：事業協同組合の申請に基づき、都道府県知事が認定（10年更新制）

特例措置：労働者派遣法に基づく労働者派遣事業（無期雇用職員に限る）を届出で実施可能



道内の特定地域づくり事業協同組合の認定状況

※ 事業計画書等に基づき記載しており、派遣職員数や派遣業務内容等について、変更となる可能性があります。（令和７年４月時点）

組合名	**初山別事業協同組合**【新規設立】
設立日/認定日	令和４年１月１４日／令和４年３月１４日
事業開始	令和４年４月
組合員/派遣職員	１０人／３人
派遣業務内容	ゴミ収集業務、キャンプ場管理・草刈り業務 除雪業務、塗装・板金作業・軽作業業務 福祉事業乗降補助業務、浄化センター管理業務 ホタテ稚貝出荷作業等、農作業業務、サービス業
組合事務局	事務局長１名

組合名	**中頓別町特定地域づくり事業協同組合**【新規設立】
設立日/認定日	令和３年１１月２６日／令和４年２月２２日
事業開始	令和４年４月
組合員/派遣職員	１３人／２人
派遣業務内容	コテージ清掃・管理、牛乳製造、決算関連事務 道路パトロール、エアコン清掃・除雪、厨房清掃・配膳 製本等業務、牧場業務（搾乳）カフェ接客、薪製造
組合事務局	事務所は役場内に設置、事務局長１名（町職員が兼職） 事務員２名（町職員が兼職）

組合名	**なよろ地域づくり事業協同組合**【新規設立】
設立日/認定日	令和４年２月１４日／令和４年３月１４日
事業開始	令和４年４月
組合員/派遣職員	５人／２人
派遣業務内容	旅客運送業務（タクシー及びバス） 穀類乾燥施設業務、農作業（牛育成）
組合事務局	事務局長１名 （道北なよろ農業協同組合からの出向）

組合名	**下川事業協同組合**【既存組合に事業追加】
設立日/認定日	昭和２５年２月２７日／令和３年２月２２日
事業開始	令和３年３月
組合員/派遣職員	１８人／４人
派遣業務内容	食料品小売・販売業務、監視業務 木材・木製品製造生産設備制御、食料品製造
組合事務局	理事長１名、職員２名

組合名	**浜益特定地域づくり事業協同組合**【新規設立】
設立日/認定日	令和４年３月２５日／令和４年４月２５日
事業開始	令和４年５月
組合員/派遣職員	９人／５人
派遣業務内容	漁労作業・水産養殖作業、農作業 養畜業、飲食業務、サービス業
組合事務局	事務局長１名、事務員１名

組合名	**しりうち地域づくり協同組合**【新規設立】
設立日/認定日	令和６年３月２８日／令和６年４月２６日
事業開始	令和６年６月
組合員/派遣職員	１６人／５人
派遣業務内容	農業、農協施設業務
組合事務局	事務所は役場内に設置、事務局長１名 事務員１名

中央会 TOPICS

北海道中小企業団体中央会の共済制度

本会では、会員組合及び組合員企業、並びに従業員の福利厚生事業として「共済制度」を推進しています。全国規模のスケールメリットにより、割安な保険料で提供できる各種補償保険制度を実施しています。

業務災害補償制度	①従業員の就業中のケガに対する補償 （死亡・後遺障害、入院、通院） ②労働災害における事業者側の賠償責任（使用者賠償責任）についての補償
団体扱生命保険	①オーナーズプラン（事業主の事業承継対策とリスクマネジメント） ②パートナーズプラン（役員・従業員の皆様が加入する生命保険）
ビジネス総合保険制度	①損害賠償責任に関する補償 （PL 賠償、リコール、情報漏えい、施設賠償、業務遂行賠償等） ②事業休業に関する補償 ③財物・工事に関わる補償など
集団扱自動車保険制度	（三井住友海上火災保険のみ）

〈その他の補償保険制度〉

- **取引信用保険制度**
- **所得補償制度**
- **サイバー保険制度**
- **中小企業海外 PL 保険制度**
- **海外知財訴訟費用保険制度**

保険内容は各損害保険会社、生命保険会社がご説明いたしますので、下記の保険会社代理店などにお問い合わせください。
ご希望の場合は保険会社をご紹介させていただきます。

【引受損害保険会社】

- 三井住友海上火災保険株式会社
- 損害保険ジャパン株式会社
- 共栄火災海上保険株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

【団体扱引受生命保険会社】

- 大樹生命保険株式会社

詳しくは本会ホームページをご覧ください

https://h-chuokai.or.jp/service/mutualaid-index/

北海道警察本部外事課からのお知らせです

経済安全保障に関する取組
～技術流出の防止に向けて～

日本には、先端技術を保有する企業やアカデミアが多数存在しています。これらの技術には、軍事転用が可能なものもあり、その情報が国外に流出した場合、企業などの国際競争力が低下するだけでなく、我が国の安全保障上も重大な影響が生じかねません。

警察では、技術情報等の獲得に向けた外国からの働き掛けの具体的な手口やその対策などを情報提供する活動（アウトリーチ活動）を推進し、企業やアカデミアにおける技術流出の防止を支援しています。

北海道警察においても企業等の技術情報管理者に対する個別説明のほか、講話を行うなど、先端技術流出の未然防止に向けた取組を進めておりますので、警察による講話開催に関するご希望や不審動向を把握した場合など、遠慮なくご相談ください。

～警察が実施する経済安全保障講話の例～

- 外国への技術流出のリスク
- サイバーインテリジェンス対策
- サイバー攻撃形態デモンストレーション

など、各企業の要望に合わせて実施可能です。

北海道警察のホームページでも経済安全保障に関する取組を紹介しています。

北海道警察ＨＰ

お問合せ：北海道警察本部外事課

電話：０１１－２５１－０１１０
（内線５８９１）

北海道経済産業局からのお知らせです

生産性向上に役立つITツールを導入したい

サービス等生産性向上IT導入支援事業

IT導入補助金

中小企業等の生産性向上を目的として、業務効率化に資するITツールの導入や、インボイス制度に対応した企業間取引のデジタル化のほか、サイバー攻撃被害により事業継続が困難となる事態を回避するための支援を行います。

※下線がIT導入補助金2025からの追加点

【補助対象】	補助額	補助率	対象経費
通常枠 事業のデジタル化を目的としたソフトウェアやシステムの導入を支援	ITツールの業務領域 ・1～3まで 5万円～150万円 ・4以上 150万円～450万円 生産性向上に直結する「汎用ツール」を単独申請可能なツールとして追加。	・中小企業：1/2 ・最低賃金近傍の事業者※：2/3 ※3か月以上地域別最低賃金+50 円以内で雇用している従業員が全従業員30%以上であることを示した事業者	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費（保守運用やマニュアル作成等のサポート費用、導入後の活用支援費用）
インボイス枠（インボイス対応類型） インボイス制度に対応した会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、PC・ハードウェア等の導入を支援	会計・受発注・決済 ・1機能 ～50万円 ・2機能以上 ～350万円 PC・ハードウェア等 ・PC・タブレット等 ～10万円 ・レジ・券売機等 ～20万円	・～50万円以下 3/4　（小規模事業者4/5） ・50万円～350万円 2/3 ハードウェア購入費：1/2	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費（保守運用やマニュアル作成等のサポート費用、導入後の活用支援費用） ハードウェア購入費
インボイス枠（電子取引類型） インボイス制度に対応した受発注システムを商流単位で導入する企業を支援	～350万円	・中小企業：2/3 ・大企業：1/2	クラウド利用料（最大2年分）
セキュリティ対策推進枠 サイバー攻撃の増加に伴う潜在的なリスクに対処するため、サイバーインシデントに関する様々なリスク低減策を支援	5万円～150万円	・中小企業：1/2 ・小規模事業者：2/3	サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料（最大2年分）
複数社連携IT導入枠	複数の中小企業・小規模事業者等のみなさまが連携して地域DXの実現や、生産性の向上を図る取り組みを支援 （補助額・補助率等の詳細はポータルサイト参照）		

【応募及び問い合わせ先】IT導入補助金事務局ポータルサイト（https://it-shien.smrj.go.jp/）
【申請締切日】令和7年7月18日（金）（第3次締切）
（複数社連携IT導入枠は、公募終了（第1次締切））

※ 2025年6月時点で確定している募集回のスケジュールのみ記載しております。以降のスケジュールは随時更新いたしますので、IT導入補助金事務局ポータルサイトからご確認ください。

【北海道経済産業局　窓口】
地域経済部　製造・情報産業課　TEL：011-709-2311（内線2566、2571）
E-mail：bzl-hokkaido-seizojoho@meti.go.jp

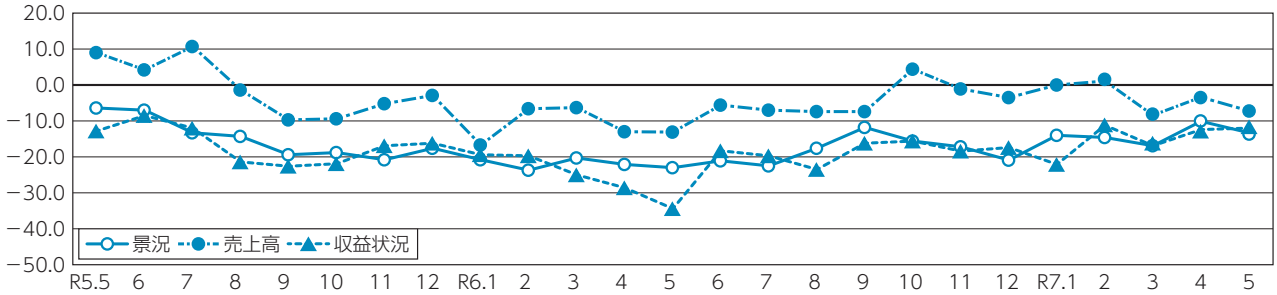
5月の道内景況 情報連絡員レポート

製造業では米の価格高騰に関する声が複数寄せられた。GW の賑わいは限定的。

概況

主要 DI の推移は、前年同月との比較で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の全てが減少となった。
また、４月から５月の推移では、「景況」、「売上高」は減少したものの、「収益状況」は増加した。
情報連絡員によると、製造業では、米の価格高騰や供給量の減少の影響を受けているものの価格転嫁が難しい、放出された備蓄米がいまだ加工用に回ってきていないとの報告があった。また、官需・民需ともに発注が落ち込み、売上が減少し、組合員の一部で業績不振になっているとの声も寄せられた。非製造業では、地域・業種によって GW の人出が想定していたほどではなかった、国内・道内からの観光客で賑わったなど、ばらつきのある報告となった。また、雇用人員確保のため、集団求人や外国人の雇用に尽力しているとの声や、離職防止のため対面の意思疎通などリモートワークを見直しているとの声も寄せられた。

主要 DI の推移



景況天気図（前年同月比）

	全業種			製造業			非製造業		
	４月	５月	前月比	４月	５月	前月比	４月	５月	前月比
業界の景況	△10.1	△13.3	△3.2 ↘	△9.7	△20.0	△10.3 ↘	△10.3	△9.4	0.9 ↗
売上高	△3.4	△7.2	△3.8 ↘	12.9	△6.7	△19.6 ↘	△12.1	△7.5	4.6 ↗
収益状況	△12.4	△12.0	0.4 ↗	△3.0	△7.0	△4.0 ↘	△17.2	△15.1	2.1 ↗
販売価格	28.1	24.1	△4.0 ↘	25.8	23.3	△2.5 ↘	29.3	24.5	△4.8 ↘
取引条件	3.4	△3.6	△7.0 ↘	9.7	6.7	△3.0 ↘	0.0	△9.4	△9.4 ↘
資金繰り	0.0	0.0	0.0 →	0.0	△3.3	△3.3 ↘	0.0	1.9	1.9 ↗
雇用人員	△11.2	△13.3	△2.1 ↘	△3.2	△16.7	△13.5 ↘	△15.5	△11.3	4.2 ↗

天気図の見方
各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」（または「好転」）したという回答（構成比）から「減少」（または「悪化」）という回答（構成比）を差し引いた値（DI）をもとに作成。天気の表示は凡例のとおりです。

（凡例）
30以上
10～29
9～△10
△11～△29
△30以下

製造業

食料品

- 組合員全体に大きな変化はない。
- 網走の沖底船については、４月に引き続きすり身原料となるスケトウダラ・マダラを中心に操業中。
- 組合員の主力であるホタテ加工については、現在、稚貝放流の作業をしている。本格的な操業は６月中旬予定。（網走）

- 米不足や米価格の高騰は備蓄米が出ることにより少し落ち着きを見せているが、小麦商品、特に麺類は昨年同様の売上高で伸びていない。原材料や添加物等の価格高騰で値上がりしているが、値上げした分買い控えとなり収益には結びついていない。（全道）

- 味噌・醤油出荷量

（前年対比）

味噌出荷量	道内単月出荷量（令和７年４月）	91.7%
	道内累計出荷量（令和７年１月～４月）	98.2%
	全国累計出荷量（令和７年１月～３月）	100.8%
醤油出荷量	道内単月出荷量（令和７年４月）	96.2%
	道内累計出荷量（令和７年１月～４月）	98.5%
	全国累計出荷量（令和７年１月～３月）	98.8%

- 令和７年４月単月の道内出荷量は、味噌・醤油共に良かった。
- 味噌の原料であるコメの価格が令和７年度米（購入時期令和８年11月～令和９年10月）も引き続き高くなるので、味噌の場合、毎年の価格改定が必要になる。（全道）

- 当市場（函館市）水産物の漁獲が少なく、他産地市場の漁獲量も少ない。この時期は観光客や豪華客船の入港と、水産物の需要が高い時期でもある。
- いかめし製造については米の価格が高騰しており、価格に転嫁できない。備蓄米がまだ加工用に回ってきていない状況。（函館）

木材・木製品

- ５月のトドマツ原木の工場への入荷は、前月同様落ち着いている。
- 市況については、在庫が不足している状況になく、年度始めを見通し増加傾向にあり、保合で推移している。
- 国有林材のトドマツ一般材については、全道で平均的に荷動きが活発化している。
- ただし越材については、品質が劣化しているにもかかわらず、価格の見直しがされていないなど買い手に対するアプローチが施されていない。
- カラマツ原木については、一時、東京の商社が本州向けに函館港から移出をしている。また、木質バイオマス原料については、順調に集荷されており、価格も高止まりの傾向。
- トドマツ製材市況は、先月に引き続き景気後退等の影響によって新規住宅需要が前月に比べ減少しており、回復することは不可能に近い。建築用材については、非住宅、土木資材は多少の動きがあるが、価格は弱気配～保合の状況にあり、カラマツラミナについても、減少傾向で推移している。市況はカラマツ、エゾ・トドマツは弱含みが見込まれる。本州のスギが市況に入り込んで道内の市況を圧迫しつつあり、業界内では脅威に感じている状況にある。紙原料は不足気味で、原料材価格が上昇していたが、全体的に下降気味である。
- 木材業界内では釧路市の新たな工場進出が白紙になったとされている。先行きが見通せず、その動向に注目が集まっている。（全道）

- ４月に比べ幾分か受注状況が改善されたため、工場もほぼ定時まで動かすことができた。６月も引き続き定時稼働が可能な受注は確保できているが、エンドユーザーによって仕事量にかなり差があるとのことからまだまだ市況の安定とまでは言えない。（十勝）

窯業・土石製品

- ５月の生コン出荷量はおよそ 229 千 m^3。（前年同月比 98.4%）
- 地域別には、前年同月を上回った分会は 27 分会中、12 分会で前年（増加は 13 分会）を下回った。前年同月と比較して増加したのは北根室、後志、岩宇など。一方、減少したのは釧路、道南、苫小牧などであった。（全道）

- ５月の出荷実績数量は前年同月対比 226.33%の増加。年間想定数量は前年出荷数量プラス 5,000m^3で予想している（登別本庁舎建設が全体出荷数量の３分の１ほど）。（室蘭）

- 組合員 13 社により組合を運営しているが、官民ともに工事の発注が少ないため、出荷量が減少し売上も減少したが、その他の状況については変わりない。また、新たな工事の発注もあり長期想定については前年を上回ると見込んでいる。（釧路）

- 砂利の販売価格は一定程度上昇しているが、需要の減少や恒常的な燃料費・人件費の高騰などから、収益は好転しないまま推移。
- 新幹線工事等に要する生コン用砂については、天塩港から石狩湾新港や瀬棚港に船で運搬しているが、天塩港のしゅんせつ工事量は若干増加したものの、天塩川から流れ込む漂砂による砂利運搬船の航行に支障が出ており、更なるしゅんせつ工事の拡大が必要。（全道）

鉄鋼・金属

- 自動車向け、上下水道向けはやや悪い。建設機械は多少持ち直し。建設資材向けはやや悪い。加工機械・ロボットは悪い。関連市場が依然として、全体的に思わしくない。原材料は需給が悪いのか下がってきている。ガソリンは政府の補助制度により 160 円台と値下がり。（全道）

- 温室効果ガスゼロ目標を達成するための制度導入を含む条約改正案が基本合意され、2027 年３月に発効、2028 年から適用が開始される見込みで、船舶の使用燃料が、重油から温室効果ガス（GHG）排出量の少ないバイオ、LNG、メタノール、アンモニア等へと転換が進み、GHG 排出量の確実な削減が期待されている。（室蘭）

一般機器

- 組合員の一部で業績不振になっている。
- 備蓄米の低価格流通が早期可能なら、物価高騰対策も早急かつインパクトのある実施が必要。食料品・生活必需品の消費税減税と 10 万円給付金かマイナカードでのポイント給付実行など、電気料金の補助額の大幅な増加と冬季期間延長の実施も必要。（札幌）

- GW 明けも動きはさほどよくない。今月は業界の総会があり、他社にも状況を聞いてみたが、今年は例年とは動きが異なっているという声が多かった。度重なる資材値上げの影響も大きな要因と思われる。（全道）

- 会員企業において学校給食の米飯を取り扱っている企業があり、主原料のお米は現物支給となっているため問題はないが、光熱費などの間接経費アップ部分は自社努力となっている。
- 会員企業においてコンビニへの弁当供給会社があるが、すべて自社調達のため米の供給量等、相場の影響を直接的に受けている。売値への転嫁はコンビニ側に主導権があるため大変である。（旭川）

非製造業

卸売業

- ４月に続き減収となった企業が多く、年度替わりの需要が前年に比べ伸びていない。生活雑貨、事務機器、靴等が売上を落とし、販売価格の上昇は頭打ちとなっている。
- 雇用人員は中途採用中心に前年並みを確保しているが、慢性的な人材不足は否めない。
- 会議室、展示室の需要は引き続き多く、前年並みで推移している。（札幌）

- 令和７年５月の当組合買付高は仲卸、荷受 1,426,597 千円（税抜）で、４月実績額 1,466,652 千円（税抜）より 40,055 千円ほど減少した。５月は春物生鮮品が出そろったものの、気温の上昇が思ったほど見込めなかったことと、ゴールデンウィークによる休市の仕入分を４月に済ます業者が多く、その分の扱高は下がったと思われる。（道央）

- 公共施設等の蛍光灯を LED へ交換する物件見積が活発に動き始めている。（全道）

小売業

- 前年比較　物販 97.2%、金融 94.3%。初夏の観光シーズンを迎え、観光客が増えてきているものの、中心市街地の人通りは昨年ほど多くはないように見えた。５月 30 日（金）から第 28 回全国菓子大博覧会が旭川で始まり、５月 31 日（土）の会場付近は大勢の来場者で賑わっていた。このイベントを待っていたのも影響した可能性があり、６月 15 日（日）まで開催されるので６月の売上に期待したい。業種別の売上では、飲食店が 110%と好調であったが、食料品やドラッグストアがほぼ前年並みで、その他の業種では前年割れとなり、特に家電系が 82%と落ち込みが大きかった。（旭川）

- LP ガスは３月から６月の期間、北海道の支援による「第３次北海道 LP ガス利用者緊急支援事業」が行われており、１契約につき最大 2,200 円（税込）の値引き支援が行われている。LP ガス消費量の増加に期待したい。（稚内）

- ５月については前年と変わらないといった組合員店が大半だった。GW も当組合員店の業種には無縁の格好で、燃料販売店で前年を上回ったそうだが、価格高騰が要因で収益は前年よりも悪いとのこと。組合自体も決算を迎え厳しい結果で終えることとなり、次年度以降の計画に新規事業の立ち上げを盛り込んでいる。
- 販売事業３部門の実績は、携帯販売で前年を大きく上回る収益を確保できたが、旅行、保険については前年を下回り、トータルは前年比マイナスの結果となっている。会社としては決算処理を終え厳しい結果となったが、前年より大きな回復を見せている。本社ビル解体後の活用が今後に大きく影響するものと考え、総会開催に向け準備している。（釧路）

- 週末の天候が影響し、売上は伸びていない。新車購入を控え、中古

自転車購入や修理・点検に訪れる人だけが微増という状況。（全道）

●今年のGWは、前半は日の並びがあまりよくなかったこともあり、当連合会で例年GW期間中に準備する臨時駐車場の利用も前年よりも大幅に少なく7～8割程度の利用だった。昨年のこの時期は、何といってもアニメ映画「名探偵コナン」の影響が大きかったので、少しずつではあるが反動も見え隠れしている。（函館）

●5月は前半のGWでの人出に期待したが、あまり人出もなく観光・ホテルは暇だった。入荷も少なく、旬の毛がに、時鮭も価格が下がらずあまり販売できなかった。後半は少し時鮭の価格が下がり、6月以降の入荷、価格に期待する。6月はよさこい祭り、北海道神宮のお祭りなどがあり、売上が伸びればと思う。（道央）

●売上前年比106%。要因の一つとして新規利用者の増加が挙げられる。（札幌）

●5月はゴールデンウィークもあり、国内観光客の入店が多く賑わいを見せた。5月9日に市内の老舗スーパーが和商市場店として、青果や日配品中心に販売を始めた。地元FM局によるイベントを開催し、賑わった。米の高騰により、パンの売上が良かった。（釧路）

●全体的に売上は伸び悩んでいるが、北海道もエアコンが必要との認識が高まっている。また、7月、8月は工事が集中するため、最近は6月からの早期注文も増えており、売上増の期待が持てる。（全道）

●整備士が国家資格であるならば、販売業にも、消費者に安全な情報を提供する責任を負う制度が必要になる。私たちは、整備と販売の両方が命を預かる行為であることを、社会全体で再認識すべきだと考えている。（札幌）

●水田地帯では田植えの準備で忙しい時期を迎えた。ただ米の価格の高騰が気になる。（全道）

●組合員企業では、雇用の改善はなされてないようだ。組合の工場は臨時職員1名を採用できたが、組合員企業の求人への応募は、臨時職員、パート従業員ともに新たな動きはない。
●移住を検討中の相談窓口を利用し、イベント等出展によるPR活動を継続中。（下川）

商店街

●5月共通駐車券の利用は前年同月比114.3%。買物共通バス券は前年同月比73.3%。共通駐車券は前年比利用の微増傾向を維持。（帯広）

●景気全体としては横ばいの感があるものの、都心部においては海外からの旅行者が「爆買い」から「体験型」へ移行しつつあることや、都心部駐車場の利用率も減少に転じていることから、ガソリンなど燃料代の高騰により住民の購買意欲に影響が出ていると推量される。地域の商店街は客足の伸びは見られず、施設の維持費用の増により景況は厳しい状況にある。（札幌）

サービス業

●燃料用重油・光熱費等の高止まり、物価高騰の状況、そのような中での営業に係る経費は増大しており、依然として営業状況は厳しいと思われる。（全道）

●働き方改革や新型コロナ禍でリモートワーク（在宅勤務）が急速に拡大した。オンライン会議やチャットといったデジタル環境が普及して、PCとネット環境があれば仕事ができるIT企業は特に導入が進んだ。しかし、その反動ともいえる社内コミュニケーション不足、勤務時間の管理や行動の把握のあいまいさ等の問題点が露呈して、生産性がそれほど伸びないことや離職の増加にもつながっていることから、原則出社への回帰や週3回出社のハイブリッド勤務を進める道内中小IT企業が増加している。人手不足を背景に、仲介業者が高報酬や能力発揮度を謳い文句にして転職の働きかけで接触する機会が増えて離職者の増加に結び付いていることも指摘され、人材確保上でも出社勤務が必要と判断した。もちろん、育児や介護など個別の事情がある場合はリモートワークを継続できるという。また、リモートワークは通勤の負担軽減で時間を有効活用できるメリットはあるが、IT企業はシステム開発案件を分担してチームで業務遂行するケースが多く、対面での意思疎通の方が仕事がスムーズにはかどるだけでなく、新しいアイデアを生み出せることで生産性の向上にも貢献する。今後も最適な働き方の仕組み作りで生産性を高め、収益に貢献する最適な体制作りを目指すことになる。（全道）

●宿泊入込数　前年比104.6%。道内客、道外客、海外客すべて増加。特に道内客の前年比増は8か月ぶり。（十勝）

建設業

●原材料費及び人件費の増加は続いており、収益への影響が生じている。また、雇用人員不足により新たな事業獲得が困難になっている等、事業への影響が見られる。人員確保のため、集団求人や外国人の雇用に尽力する企業が増えてきた。（札幌）

●各官庁の令和7年度工事について、第1四半期の発注が5月より本格化してきたが、現状では不調等の大きな混乱はない。各官庁も業界側の要望を踏まえつつ、積算における経費率の改善や、現状の労務費相場を反映した「見積活用方式」の採用、資機材等の「物価スライド制」活用、十分な工期確保と「週休2日型」導入の本格化、発注時期の分散化、書類の簡素化など、諸制度を改善していただいている。民間工事では分野や地域性によっては濃淡があるものの、発注状況、発注見込みなど堅調な状況。働き方改革について、官庁工事は週休2日型の導入が本格化。民間現場もゼネコンによる土曜日閉所推進など、わずかずつ改善しつつある。ただし、地方都市は遅れている。
●公共放送の職員が来訪し、「法律で決まっているので、会社や住居以外にもテレビ放送受信が可能な車両、パソコン、携帯電話等はそれぞれ契約が必要。現状の所持状況を報告するように。」との要請があった。法律で決まっているとはいえ、特に地方の疲弊している中小企業に対しては、配慮が必要と思われる。（全道）

●売上高については公共工事の発注により、前月の減少傾向から前年並みに回復。販売価格は依然上昇傾向にあり、原材料や人件費の上昇は見られるものの業界の景況としては悪化することなく、前年同月を維持している。今後の繁忙期に向けて、資材の調達や人員確保などへの対応が課題である。（北広島）

●本年度の公共上水道工事は、当初予定の入札は完了し、全ての工事について当組合事業者が受注することとなった。
●組合各社ともに、新規の採用がなく、技術者を含めた労働力の確保に苦慮している。
●6月1日（日）には、地域の夏のイベント「アスパラまつり」が開催される予定となっており、名寄市民をはじめ道内の来場者などで盛り上がることが予想される。当組合員も準備等お手伝いに忙しいようだ。（名寄）

運輸業

●燃料油価格の高騰により、収益に影響は少なからずある模様。ただ、5月後半からの政府補助金と原油価格の下落により経費節約にはなっている。（小樽）

●全般的に物の動きはよくない。
●鉄骨の本州輸送が活発、段ボール輸送が減少（空知地区）。
●次世代半導体工場関連の輸送は小休止のため動きが少ない。
●農産物は本州輸送よりも、道内の工場への輸送が活発。（全道）

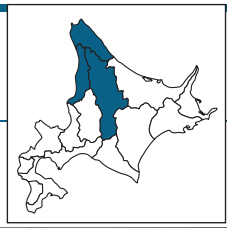
●農産物については、加工用馬鈴薯を除きほぼ終了した。野菜類の収穫期まで荷動きは少ない。
●日用品、建築資材関連も荷動きがよくない。（石狩）

●売上高は前年同月比（4月）2.67%減少。
●乗務員数は前年同月比（5月）0.2%増加。
●4月分チケット取扱高は前年同月比1.88%減少。（旭川）

支部だより

上川・宗谷支部（旭川市）

所管／上川・宗谷総合振興局・留萌振興局管内
駐在職員／外川事務所長・中里主事・長谷川主事



旭川市管工事業協同組合が
創立 70 周年を迎えました！！

5 月 27 日（火）、旭川市管工事業協同組合（稲尾太理事長、組合員 21 名）の創立 70 周年記念講演および記念祝賀会が開催されました。

旭川市の水道は、大正 2 年に創設された軍用水路を起源とし、昭和 23 年に旭川市へ移管され、市民の水道として生まれ変わりました。それに伴い、昭和 30 年に当組合の前身である「旭川水道施設事業協同組合」が設立されました。昭和 56 年には、現在の「旭川市管工事業協同組合」へと名称を変更し、より強固な組合体制のもと、上・下水道の普及と向上に対応するさまざまな事業を展開しながら、市民の水を守り続けています。

記念講演では、株式会社アントレプレナーセンター 福島正伸代表取締役による、「メンタリング・マネジメント ―人を育てるとは―」と題した講演が行われ、人材育成に必要な“自発性のある組織づくり”について、貴重なお話をいただきました。

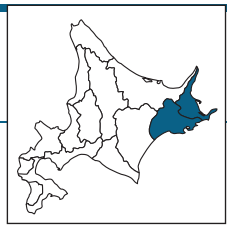
その後開催された記念祝賀会では、稲尾理事長の挨拶と来賓祝辞の後、当組合の長年にわたる活動の様子がスライドで紹介され、市民生活を支えてきた組合の歩みに、会場中が見入っていました。

今後も、旭川市のライフラインを守るために欠かせない存在として、旭川市管工事業協同組合のさらなる活躍が期待されます。

創立 70 周年、誠におめでとうございます！

釧根支部（釧路市）

所管／釧路総合振興局・根室振興局管内
駐在職員／竹内事務所長・青木主任



今年は全席指定席で運行中！くしろ湿原ノロッコ号

JR 北海道の「くしろ湿原ノロッコ号」が今年も運行中です。釧路駅から塘路駅（標茶町）を結ぶ観光列車の運行初日に乗車してきました。

まず、車内には木製の座席が広がり、車窓に広がる風景を見やすいよう高めの設置となっています。釧路湿原や鹿などの野生動物を快適に眺められ、多くの乗客が感嘆の声を上げ、カメラを向けていました。

発車前のくしろ湿原ノロッコ号

次に興味を惹かれたのは、車内限定販売商品の「ノロッコ号プリン」。「食べる牛乳」をコンセプトに作られ、白くあっさりした味で、これを求めて乗車する価値があるほどでした。

また、運行初日ということで、始発駅の釧路駅では沿線関係者によるお見送り、到着駅の塘路駅では、ゆるキャラなどによるお出迎えが行われ、乗車した観光客も満足げな様子でした。

車内の座席

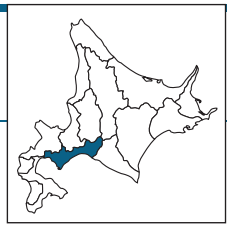
ノロッコ号プリン

なお、「くしろ湿原ノロッコ号」運行期間中には、「よくばりノロッコ号」・「夕陽ノロッコ号」・「ノロッコ川湯温泉号」も運行されます。運転日を含めた詳細は JR 北海道のホームページを参照ください。

【JR 北海道くしろ湿原ノロッコ号】
https://www.jrhokkaido.co.jp/travel/kushironorokko/

胆振支部（室蘭市）

所管／胆振総合振興局管内
駐在職員／若狭事務所長・水内主任



壮瞥町産りんごを使用した
シードル＆スパークリングジュースのご紹介

「そうべつシードル」は、北海道壮瞥町で生産される高品質なりんごを100％使用した、発泡性アルコール飲料です。壮瞥町は、道内２番目の生産量を誇るりんごの生産地として知られており、温暖で豊かな自然環境が美味しいりんごを育てています。そうべつシードルはそのりんごの酸味や甘み、香りがより引き立つようにそれぞれ特徴ある複数のりんごをブレンドして作られています。

シードルの製造過程では、りんごを発酵させることでアルコールを生成し、さらに炭酸を加えることで爽やかな飲み心地を実現しており、アルコール度数３％の甘口と、６％の辛口の２種類を製造し、どちらもりんごの風味を最大限に引き出しています。甘口はフルーティーで飲みやすく、辛口はすっきりとした味わいが特徴です。

そのほか姉妹品として、そうべつシードルと同じ品種のりんごをブレンドしてマイクロフィルターでろ過した後に、炭酸を注入して作られたノンアルコールのスパークリングアップルジュースがあり、アルコール飲料が飲めない方にも好評です。

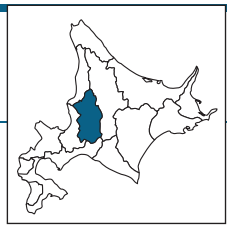
これらの商品は、壮瞥町内の観光施設や道の駅などで購入でき、観光客の注目を集めています。

さらに、そうべつシードルは、町内の農業者や商業者など20名以上の方々が参加し、実行委員会を組織して製造・企画されており、地域の特産品として地元の経済にも貢献するほか、業種の垣根を越えたコミュニティづくりにも役立っています。

壮瞥町を訪れた際には、ぜひこのシードルを試して地元のりんごの美味しさを味わってみてはいかがでしょうか。

空知支部（岩見沢市）

所管／空知総合振興局管内
担当／連携支援部　田口課長



夕張エネックス協同組合が本会事業「経営環境変化対応支援事業」を活用して講習会を開催

夕張エネックス協同組合(北島嗣之理事長、組合員７名)は、６月1日(日)、ジャスマックプラザ(札幌)において、講師に社会保険労務士の森隆幸氏を招き、テーマ「働き方改革関連法のおさらいと労務管理のポイント」と題し、８人が参加して講習会を実施しました。

当組合は、官公需適格組合であり、夕張市より同市の関連施設への石油製品等の納入を受注しています。

官公需適格組合制度とは、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は、十分に責任を持って履行できる経営基盤が整備されている組合であることを中小企業庁(北海道では北海道経済産業局)が証明する制度で、空知管内では７組合が取得されています。

同講習会では、2018年に公布され、順次施行されている「働き方改革関連法」の概要について、労働時間法制の見直しや雇用形態に関わる公正な待遇の確保などの労務管理に関する内容で、参加者は真剣な眼差しで受講されました。

本会の経営環境変化対応支援事業は、法改正等の制度変更などの対応に取り組む会員組合又は組合員のもとへ専門家を無料で派遣する事業で、働き方改革、SDGs、事業継続力強化計画、IT活用などの環境変化への取組に対して支援しています。

本事業の活用、官公需適格組合制度について、ご不明な点がありましたら本会へお気軽にお問い合わせください。

中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。（右の QR コードからもご覧頂けます）

No. 47 経営トップセミナーⅠ　コスト高騰に立ち向かう「値決め」経営

オススメ！

～ 利益を生み出す自社商品・サービス価格のポイント ～

【研修日時】７月２５日（金）
【受講料】１６，０００円（税込）
【対象者】経営者・経営幹部
※サービス業や運送業など幅広い業種の方
適正な価格設定を検討している方

「値上げの仕方がわからない」「社内の値上げ活動が進まない」とお悩みの経営者や経営幹部の方、営業部門など実務を任される方を対象に、利益創出の仕組みや取引先との価格交渉の臨み方、価格をマネジメントする方法など、自社の収益改善への近道や、最適な方法について、実践的に学びます。

・商品・サービスの価値を高める（儲けを生み出す）ための、適切な価格設定の方法が学べます。
・値決めのルール構築の仕方を学ぶとともに、継続的な収益改善につなげる方策が学べます。
・儲けを生み出すための「値決め」経営の実践のため、価格交渉や戦略立案方法が学べます。

No. 17 営業計画策定講座

札幌開催

マーケティングの視点で考える営業マネジメントの実践法

７月２３日（水）～２４日（木）
８月２７日（水）～２８日（木）
受講料：３６，０００円（税込）
対象レベル：経営幹部・管理者

マーケティングの基本と営業戦略・営業計画の立て方を理解し、インターバルを活用して営業計画の立案に取り組み、組織的な営業活動の進め方を学びます。

No. 42 組織風土づくりの考え方・進め方

札幌開催

イキイキと働ける職場づくりと組織の活性化

８月５日（火）～７日（木）
受講料：３２，０００円（税込）
対象レベル：経営幹部・管理者

働きやすい職場環境を整え、メンバーの能力を最大限に引き出す組織風土をつくるために、どのように組織を変革していくのか事例を交えて学びます。

No. 19 財務分析の進め方（財務中級編）

決算書の分析から改善へのヒントをつかむ

８月６日（水）～８日（金）
受講料：３２，０００円（税込）
対象レベル：経営幹部・管理者

財務の観点から自社の現状を読み取るための分析力を身につけ、分析結果から自社の特徴・問題を発見し、自己の業務で取り組むべき改善策を検討します。

No. 20 リスク管理の考え方・進め方

札幌開催

自社のリスクを把握し、正しく評価する方法を学ぶ

８月２０日（水）～２１日（木）
受講料：２２，０００円（税込）
対象レベル：経営者・経営幹部

リスクマネジメントの必要性を理解した上で、自社のリスクを抽出・分析し、リスクマネジメントを実行するための体制づくりと実施するプロセスを学びます。

講座内容詳細は　中小　旭川　検索　　初めての方は　旭川校トリセツ　検索

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。
電話 0166-65-1200　/　FAX 0166-65-2190
住所　旭川市緑が丘東３条２丁目 2-1

独立行政法人　中小企業基盤整備機構　北海道本部
中小企業大学校　旭川校

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

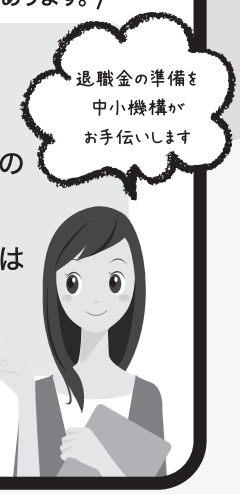
掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

＼ 他にもこんな特徴があります。 ／

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止



経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

共済相談室　TEL. 050-5541-7171　【受付時間】平日 9:00～17:00

オンラインで加入申込み受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
制度の詳しい内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。

小規模企業共済　小規模共済　検索
経営セーフティ共済　経営セーフティ共済　検索

Be a Great Small.
中小機構

2024.9

もっともっと、できる商工中金へ。

もっと、お客さまのニーズに応えることができる。もっと、新しいことにチャレンジできる。
それぞれが個性を活かし、未来に向かって、もっともっと「できる商工中金」へ。

企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。 商工中金

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西3-1-20	TEL:011(241)7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町33-1	TEL:0138(35)5022
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南9-23	TEL:0155(23)3185
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町1-1-1	TEL:0154(42)0671
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通9-1703-81	TEL:0166(26)2181

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001　札幌市中央区北１条西７丁目 プレスト１・７　３階
TEL 011-231-1919　FAX 011-271-1109
ホームページアドレス　https://www.h-chuokai.or.jp
発行日／ 2025 年７月１日(毎月１日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。